



① 日本国特許庁

# 公開特許公報

特 許 願 願 号 / 号

昭和50年2月7日

特許庁長官殿

## 1. 発明の名称

電子キー

## 2. 発明者

住所 大阪府門真市大字門真1006番地  
マツダ電子工業株式会社  
氏名 小 柳 裕 喜 生

## 3. 特許出願人

住所 大阪府門真市大字門真1006番地  
マツダ電子工業株式会社  
名称 (582) 松下電器産業株式会社  
代表者 松 下 正 治

## 4. 代理人

住所 〒550 大阪府大阪市西区阿波南1丁目71番地  
アマノビル 電話大阪06(532)4025(代)  
氏名 (8808) 弁護士 森 本 義 弘

## 5. 添付書類の目録

(1) 明 細 書 1通 (4) 願 書 副 本 1通  
(2) 図 面 1通  
(3) 委 任 状 1通

① 特開昭 51-91625

④ 公開日 昭51.(1976) 8.11

② 特願昭 50-16624

② 出願日 昭50.(1975) 2.7

審査請求 未請求 (全2頁)

庁内整理番号

7218 f6  
7222 26

⑤ 日本分類

P77(B)1  
J4 E4

⑥ Int.Cl<sup>2</sup>

G06F 3/02  
E06B 49/00

## 明 細 書

### 1. 発明の名称

電子キー

### 2. 特許請求の範囲

キーボードより入力した特定の数字もしくは記号と、予め設定された数字もしくは記号とを比較する手段を有し、一致時に比較手段からの出力でフリップフロップを反転させ、電源をONさせるべく構成したことを特徴とする電子キー。

### 3. 発明の詳細な説明

本発明は、キーボードを有するテレビジョン受像機、グラフィックディスプレイ、コンピュータ端末機等を使用される電子キーに関する。

即ち、上記テレビジョン受像機等においては、電源スイッチを特定の人のみが投入しうるようにしたいという必要が生ずる場合が多い。そこで、本発明はかかる要求に対して、上記の各器が有するキーボードを利用し、此等のキーボードより入力した特定の数字もしくは記号または此等の組合わせによって電源回路を投入する電子キーを提供

しようとするのである。

以下、本発明の一実施例を図面に基づいて説明する。まず、スタンバイスイッチ(1)を投入し回路の必要な部分に電源を入れる。次いで、キーボードより必要な数字もしくは記号を必要桁数だけ入力する。いま、簡単化して2桁の場合を考える。キーボードスイッチ(2)より入力した信号は10進/2進デコーダ(3)で2進符号化され、更にタイミングパルス発生回路(4)によってプログラマブルカウンタ(5)に読みこまされる。(桁数が増えた時シリアル・イン・パラレルアラートのシフトレジスタに順次読みこむようにする。)このようにしてメモリされた2進信号群を8ビットコンパレータ(6)で、予めデジタルスイッチ(7)で指定された符号と比較し、一致すれば一致信号によりフリップフロップ(8)を反転させ、リレー(9)を駆動して電源スイッチ(10)を入れ、電源をONさせる。逆に、電源をOFFさせる場合は、リレー(9)によってフリップフロップ(8)を反転させればよい。

以上詳述したように本発明は、キーボードより

図面は本発明の一実施の態様を示すブロックダイアグラムである。

[illegible]

**BEST AVAILABLE COPY**